

高松コンストラクショングループ サステナビリティ・リンク・ボンドレポーティング

■発行後レポーティング(4回目)

○SDGs 貢献売上高(2025年3月期)

2021年3月19日に当社が発行した「株式会社高松コンストラクショングループ第2回無担保社債(社債間限定同順位特約付/サステナビリティ・リンク・グリーンボンド)」における、サステナビリティ・リンク・ボンドの評価項目「SDGs 貢献売上高」について、2025年3月期時点の状況は下表の通りです。

記

1. SDGs 貢献売上高実績(2025年3月期)

表1 SDGs 貢献売上高 2025年3月期実績

貢献事項		売上高(億円)			
		2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 実績
E.環境保全への貢献					
a. 再生可能エネルギーの発展	①再生可能エネルギー関連施設の工事売上高(水力発電、バイオマス発電含む)				
	②太陽光発電設備の設置売上高				
b. 自然共生素材・工法の推進	③自然共生素材・工法を用いた法面工事売上高				
	④水陸両用ブルドーザを用いた自然共生工法				
c. 省エネの推進	⑤CASBEE、ZEB等の規格に適合した建築の売上高				
小計①		393	487	433	612
S.住み続けられるまちづくりへの貢献					
d. 安心・長寿命空間の提供	⑥耐震性能が建築基準法の15%増し以上の建築物売上高				
	⑦耐震補強工事の売上高				
	⑧木造戸建住宅の売上高				
e. 安全・快適・高品質の維持	⑨マンション等の大規模リフォーム売上高				
f. 伝統建築文化等の継承	⑩社寺建築、埋蔵文化財発掘の売上高(金剛組の全売上高)				
g. 高齢者向け住サービス	⑪サービス付高齢者住宅運営の売上高				
小計②		404	566	638	636
合計①+②		797	1,053	1,070	1,248
累計		797	1,850	2,920	4,169
進捗率		20%	47%	75%	107%

2. 現在の ESG への取り組みについて

1)サステナビリティ戦略及びサステナビリティ推進体制について

当社は、新たに策定した中期経営計画(2026年3月期~2028年3月期)において、持続可能な地球環境への貢献を重要課題(マテリアリティ)と定め、事業活動におけるCO2排出量の削減や、環境負荷軽減に貢献する事業および技術開発を推進しております。

また、気候変動に係る基本方針や重要事項、リスクや機会等を検討・審議する組織として、代表取締役社長を委員長とする「気候変動対策推進委員会」を設置しており、気候変動リスクの管理、環境に関する新たな取り組み

について継続的に協議をおこなっております。

なお、2023年6月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同し、TCFDの提言に沿った情報開示もおこなっております。

マテリアリティ 持続可能な地球環境への貢献

E-1 気候変動リスクへの対応

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に準じた開示の実施

対象	2024/3期 排出量	2031/3期 目標	2051/3期 目標
Scope1・2	20,074t-CO2	24%以上削減	排出量実質ゼロ
Scope3	未算出	2025年6月 有価証券報告書に開示予定	排出量実質ゼロ

E-2 環境に配慮した事業の推進

環境負荷軽減に貢献する事業の推進、技術の開発

**青木あすなる建設
SBT認定の取得**



青木あすなる建設は、同社の設定した温室効果ガス排出量削減目標について、国際的なイニシアチブ「SBT (Science Based Targets)」の認定を取得

**タカマツハウス
ZEHの提供**



タカマツハウスは、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）基準の高断熱住宅（断熱性能5等級・一次エネルギー性能6等級）の提供を強化し、東京都のHTT取組推進宣言企業に認定

**東興ジオテック
ネイチャーポジティブ貢献事業**



東興ジオテックでは、斜面崩壊防止や補修をはじめとする法面工事において、各種オリジナル技術と工法を通じ、2030年ネイチャーポジティブの実現に寄与する、外来種を使用しない生物多様性に配慮したグリーンインフラの社会実装に貢献

- 中層・純木造・2方向ラーメン構造の普及モデルの開発
- ZEB, ZEHの高度化および普及モデル開発
- カーボンパール・コンクリートの開発
- PFAS除去技術に関する研究

(参考)株式会社高松コンストラクショングループ 経営計画

<https://www.takamatsu-cg.co.jp/ir/managementplan/index.html>

(参考)株式会社高松コンストラクショングループ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に沿った情報開示 <https://www.takamatsu-cg.co.jp/sustainability/environment/index.html>

2)KPI 及び SPT 分析について

2021年度から2024年度までの4年間累計で3,911億円以上と定めておりましたが、再生可能エネルギー関連工事やCASBEE、ZEB等の規格に適合した建築工事の積極的な受注活動により、目標額を超える4,169億円の売上実績となりました。

以上